

脱サラして米農家に転身！

「鷹栖町を有名に」と米の輸出やおむすび屋経営にも挑戦

株式会社たかすタロファーム（鷹栖町）



【組織等の概要】

- 業種：米農家、おむすび屋、米の買付・販売など
- 代表者：平林 悠
- 農業従事者数：役員2名、正社員1名。なお、田植え時期等は、地域の仲間に声掛けし人員を確保
- 主な活動内容：米の生産・輸出、おむすび屋の経営、移住アドバイザー等の地域活性化活動、等
- URL: <https://takasu-tarofarm.com>

◇【取組の経緯と概要】

- ◆「家族とともに過ごす時間を大切にしたい」という想いから、平成28年に愛知県の製菓会社を退職し、鷹栖町に移住。
- ◆後継者のいない米農家へ弟子入りして2年間研修後、平成30年に独立・新規就農。令和3年8月に「株式会社たかすタロファーム」を設立。
- ◆「地域の女性が活躍する場を作りたい」と令和6年に冷凍おむすびの会社を設立。
- ◆栽培する米（ななつぼし、ゆめぴりか）は特別栽培に取り組んでいる。
- ◆「地域に貢献したい」と、移住アドバイザーとして活躍。自社で移住者を受け入れるなど、鷹栖町のためにとの強い想いで行動。
- ◆「鷹栖町を世界的に有名にしたい」と、お米を香港に輸出。
- ◆「地域の仲間のために」と、共同で活用できる乾燥・調整施設を令和7年に整備。

【活用した支援施策】

- みどりの食料システム戦略推進交付金を活用し、水田除草機を導入。（みどり認定取得）



◇共に農作業を行う仲間



◇乾燥調製施設

【取組の成果】

【米の輸出】

香港の料亭を中心に輸出を進め、令和7年には12トンにまで拡大。

【移住者の増加】

サラリーマン時代の元同僚などにも声をかけるなど、人の繋がりを大切にして、東京都から9人の方に鷹栖町に移住してもらうことに成功。

【女性の活躍、雇用創出】

鷹栖町の冷凍おむすび屋をはじめ、東京都で令和8年2月オープン予定のおむすび屋や、鷹栖町の仲間のお米を買い付ける会社の設立など、経営を拡大。

【食育を通じた地域貢献】

鷹栖町の「あったかファーム」で小学生が栽培したお米を、自社の乾燥調製施設で精米して小学校に提供。

【今後の展望】

＜鷹栖町を世界的に有名に！そして「農業」を子供の憧れの職業にしたい＞

＊そのために、

- 関連会社含め売上10億円を目指す。
- 米ぬかを給餌する養豚事業の開始。
- 米の輸出を「北米・ヨーロッパ」に広げる。